

## ～交通安全ハンドブック 目次～

- 1 P 自転車に乗る前に…
- 2 P 自転車の定義
- 3～5 P 交通安全の基本ルール
- 6 P 標識を知ろう
- 7 P 自転車事故はいつ、どうしておきる？
- 8 P 自転車事故による賠償責任
- 9 P 防犯・マナーについて
- 10 P 知って驚き！豆知識
- 11 P 点検整備をしよう…（まちがい探し・豆知識の答え）
- 12～13 P 交通安全クイズをつくろう
- 14～15 P 自転シミュレータ体験
- 16～17 P 1 学年「危険を予測するチカラをつけよう」
- 18～19 P 2 学年「自転車の日常整備講座」
- 20～21 P 3 学年「事故の責任について」
- 22～23 P スケアードストレイト
- 24 P 交通安全まちがい探し      25 P メモのページ

★自転車は\_\_\_\_\_です。

(道路交通法第2

条)

自転車とは…

- ・ペダル又はハンド・クランクを用い、かつ人の力により運転する二輪以上の車であつて、身体障害者用の車いす、歩行補助車等及び小児用の車以外のものをいいます。

## ★乗車人数

原則として\_\_\_\_\_。

(道路交通法第57

条)

※ただし、次の場合は幼児を同乗させることができます。

【一般の自転車】

- ・\_\_\_\_\_歳以上の運転者は幼児用座席を設けた自転車に\_\_\_\_\_歳未満の幼児を1人に限り同乗させることができます。



普通自転車の基準

- 車体の大きさ
  - ・長さ…\_\_\_\_\_cm以内
  - ・幅…\_\_\_\_\_cm以内
- 車体の構造
  - ・運転席以外の乗車装置を備えていないこと
  - ・\_\_\_\_\_が走行中容易に操作できる位置にあること
  - ・鋭利な突出物がないこと

# ～自転車安全利用五則～ (パンフレットを見て記入しよう)

1 自転車は\_\_\_\_\_が原則。\_\_\_\_\_は例外。

●自転車は車道を走ります。

車の一種とされる自転車は、車道と歩道の区別のある道路において、車道を走るのが原則です。車道を走るのが危険な場合など、例外を除き、歩道を走ってははいけません。

●歩道を通行できる場合

- ・「\_\_\_\_\_」(右図)の標識がある場合
- ・運転者が\_\_\_\_\_歳未満の子ども
- ・\_\_\_\_\_歳以上の高齢者、体の不自由な方の場合
- ・\_\_\_\_\_などのやむをえない場合



2 車道は\_\_\_\_\_を通行

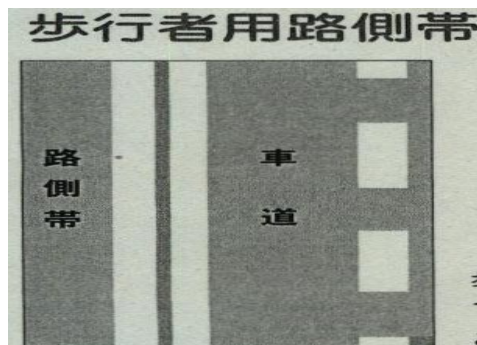
●車道の左端に寄って通行します。

自転車は左側通行が原則です。車道を走るときは、車道の左端に寄って通行しましょう。右側を走るとは、事故の原因となります。



●路側帯を通行できます。

自転車は、歩行者の通行のさまたげとなるところや、右図の\_\_\_\_\_帯(白い二本線の標示)のあるところを除き、路側帯を走ることができます。歩行者の邪魔にならないように注意しましょう。



### 3 歩道は\_\_\_\_\_優先で、車道寄りを\_\_\_\_\_。

※徐行・・・すぐに停止できるぐらいの、スピードで進行すること。

#### ●歩道を通行する場合

自転車が歩道を通行する場合、  
車道寄りの部分を徐行しなければ  
なりません。歩行者の通行の  
さまたげになる場合は、

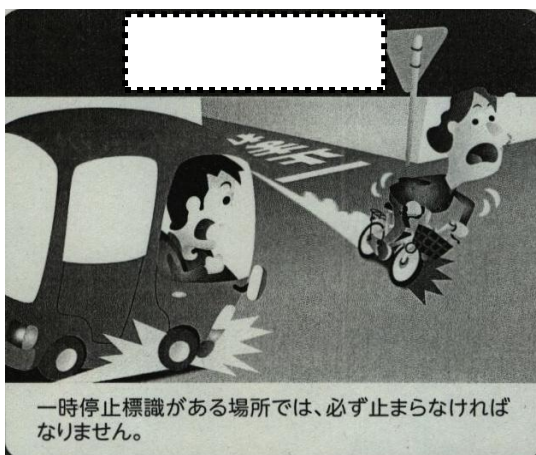
\_\_\_\_\_（右図）

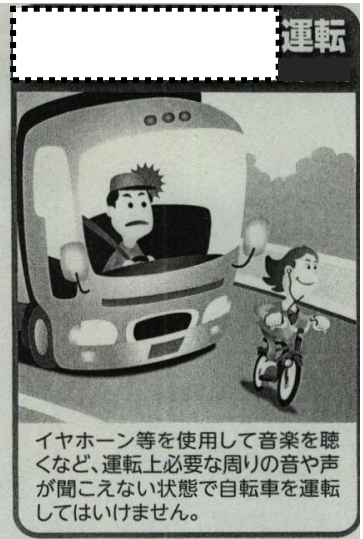
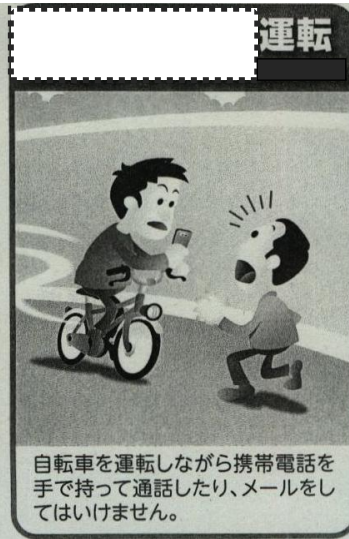
しなければいけません。



### 4 安全ルールを守る。

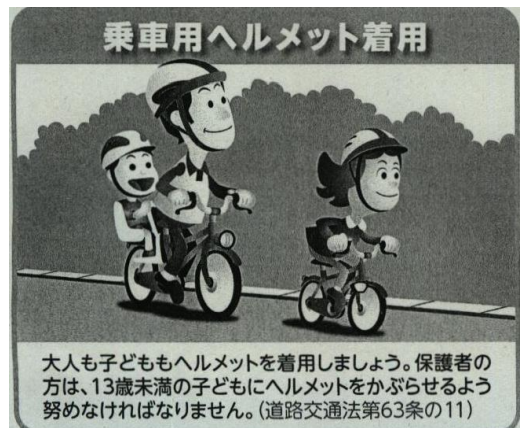
★以下はすべてルール違反です。パンフレットを参考に口に禁止事項を記入しよう。





## 5 子どもは\_\_\_\_\_着用

- 保護者は、\_\_\_\_\_歳未満の子どもにヘルメットをかぶせるように努めなければなりません。



# 標識を知ろう

★以下の標識の内容を口の中のA～Lから選び、記号で答えなさい。

<p>一時停止</p>  <input type="checkbox"/>	<p>自転車専用</p>  <input type="checkbox"/>	<p>自転車および 歩行者専用</p>  <input type="checkbox"/>
<p>一方通行</p>  <input type="checkbox"/>	<p>通行止め</p>  <input type="checkbox"/>	<p>自転車通行止め</p>  <input type="checkbox"/>
<p>並進可</p>  <input type="checkbox"/>	<p>自転車横断帯</p>  <input type="checkbox"/>	<p>横断歩道・自転車 横断帯</p>  <input type="checkbox"/>
<p>踏切あり</p>  <input type="checkbox"/>	<p>学校、幼稚園、 保育所などあり</p>  <input type="checkbox"/>	<p>車両進入禁止</p>  <input type="checkbox"/>

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| A 歩行者・車はここを通行できません。    | B 自転車はここを通過して横断しましょう。     |
| C この先踏切があるので注意しましょう。   | D 車（自転車）は、一時停止しましょう。      |
| E 車（自転車）は、ここから進入できません。 | F 自転車と歩行者だけ通れる道路です。       |
| G 自転車だけ通れる専用の道路です。     | H 矢印の方向以外には進めません。         |
| I 近くに、学校などがあります。       | J 歩行者や自転車はここを通過して横断しましょう。 |
| K 自転車は、ここを通過してはいけません。  | L 自転車2台が並んで通れます。          |

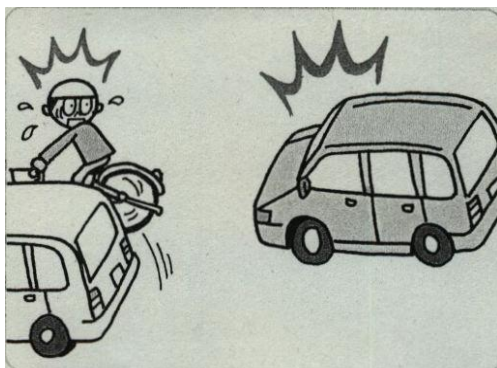
# 自転車事故はいつ、どうしておきる？

自転車事故がおこった時間帯は、**朝と夕方**に事故件数のピークがあることがわかります。その理由のひとつに、通学に自転車を利用している中学生が多いことがあげられます。通学の時間帯に、自動車の通勤時間が重なることも、多くの事故が集中しておきる原因だと考えられます。

## 事故の原因 1 位～3 位を下の口の中から選んで書こう。

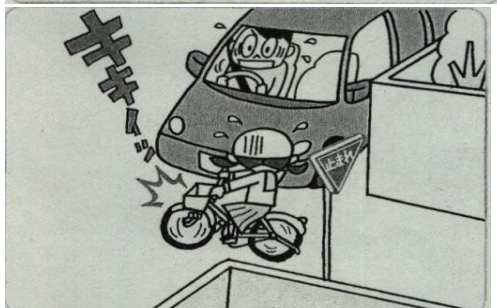
1 位

止まっている車の右側を通行するときは、車の手前でいったん止まり、後ろの安全もよく確かめてから、ゆっくりと走行しましょう。



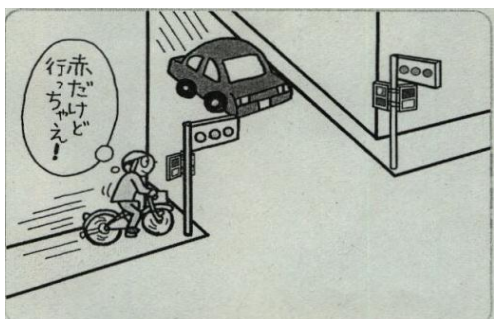
2 位

見通しの悪い交差点や路地から大通りに出るときは、交差点の手前でいったん止まり、前後左右の安全をよく確かめてから通行しましょう。



3 位

赤信号を無視して、道路をわたってはいけません。また、信号が黄色もしくは「歩行者・自転車専用」の信号が青信号で点滅しているときは、横断をはじめてはいけません。



一時不停止      信号無視      安全不確認

# 自転車事故による賠償責任

★損害賠償請求の事例（自転車と歩行者の交通事故）（パンフレットを見て記入しよう）

【大阪地裁：\_\_\_\_\_での交通事故】

中学生が、日没後に、前照灯を点灯せずに自転車で歩道を走行中、62歳の男性歩行者と正面衝突し、男性歩行者は路上に転倒して頭を強打し、約1か月後に死亡した。

男性歩行者の相続人が、人身傷害保険契約が付いた自動車保険に加入していたため、保険会社から相続人に保険金が支払われたが、同保険会社から中学生に対し求償請求がなされ、請求が認められた。

賠償額～3000万円及び支払い済みまでの年5分の割合による金員

◆裁判所が判断した歩行者男性の損害の額～3969万8901円

【東京地裁：\_\_\_\_\_での交通事故】

高校生が、雨天のため傘を差しながら片手で自転車を運転し、歩行者に追突した右膝頭蓋骨骨折等の重傷を与えた。歩行者は、高校生とその両親に損害賠償の請求を行い、その一部について請求が認められた。

賠償額～128万円及び支払済みまでの年5分の割合による金員

◆裁判所が判断した歩行者の損害の額～205万3512円

## ★保険について

事故を起こした際には、自分がけがをするだけでなく、相手にけがをさせたり、相手の物を壊したりすることがあります。これらに備え、保険に加入しておきましょう。

## 保険加入と安全マークのある自転車購入の勧め

万が一のためにも保険に加入しましょう。

### ●TSマーク

自転車安全整備士が普通自転車を点検整備し、安全確認したときに貼られるマークで、このマークが貼られた自転車には、傷害・損害賠償保険が付加されています。



### ●安全マーク

幼児2人同乗用自転車は、「BAA」、「SG」など、自転車の安全性を示すマークが付いたものを使用するようにしましょう。

(例)

#### BAAマーク



幼児2人同乗用自転車  
社団法人自転車協会

#### SGマーク





# 防犯・マナーについて

★以下の説明を読んで、防犯・マナーについて記入しよう。

- \_\_\_\_\_をしよう。

自転車を購入したとき、その販売店で防犯登録をしましょう。登録された自転車には、防犯登録シール(下図)がはられます。これにより、盗難防止に役立つほか、盗難にあったさいにもすぐに所有者が特定できます。



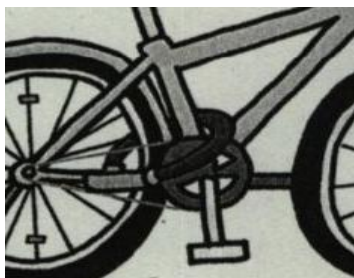
- \_\_\_\_\_を活用しよう。

自転車のかごに荷物を入れておくさいに、防犯ネットを活用しましょう。荷物が落ちないように固定できるだけでなく、ひったくりなどの盗難防止にも役立ちます。



- しっかりと\_\_\_\_\_をかけよう。

駐車場などに自転車を駐車するときは、盗まれないように、かならずかぎをかけましょう。



- 決められた場所に\_\_\_\_\_しよう。

交通のさまたげになるので、自転車の路上駐車はやめましょう。歩行者や車の通行のじゃまにならないよう、自転車駐車場にきちんとまとめておきます。学校の敷地内でも、決められた場所に駐車しましょう。



- \_\_\_\_\_を鳴らして歩行者をどかしてはいませんか？

自分が歩いているとき、突如後ろからきた自転車にベルを鳴らされて驚いたことはありませんか？法律では、歩行者を威嚇するためにベルを鳴らすのは禁止されていて、自分の存在を周囲に知らせなければならない危険な状況などに限って使用が認められています。まわりの人に対する思いやりの心をもって自転車に乗りましょう。

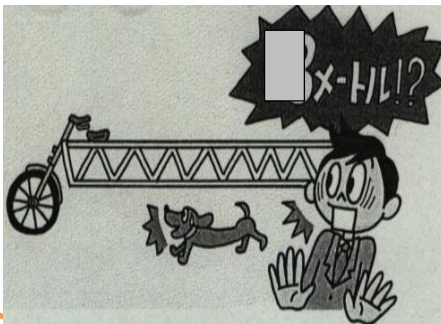
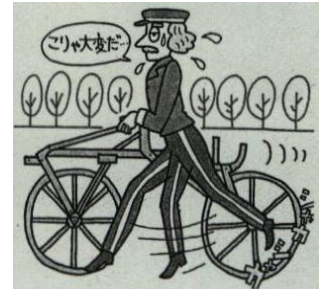


# 知って驚き！豆知識

★クイズ中のA～Dには何が入るだろう？（答えはP11）

## ●世界で最初の自転車は？

1818年に、ドイツで森の管理をしていたドライス男爵が自転車を発明したといわれています。当時はまだA\_\_\_\_\_が発明されておらず、右図のように地面を蹴って走っていました。貴族階級の新しい遊びとして、流行していたようです。

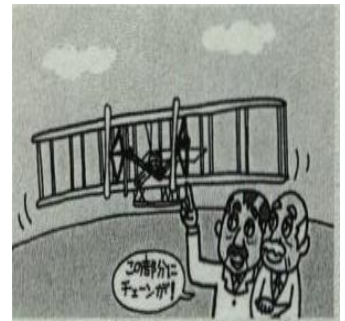


## ●世界一、長い自転車は？

インターネットニュースによると、2002年、オランダの学生グループが、長さB\_\_\_\_\_mもの自転車をつくったそうです。しかもじっさいに乗って、100m以上も走ったというから驚きです。

## ●ライト兄弟は〇〇屋さんだった！？

動力飛行機を世界で初めて発明したのはアメリカのライト兄弟です。そのライト兄弟の本業は、なんとC\_\_\_\_\_屋。自転車の技術を応用して飛行機のエンジンとプロペラを、自転車のチェーンで連結して動かしていました。

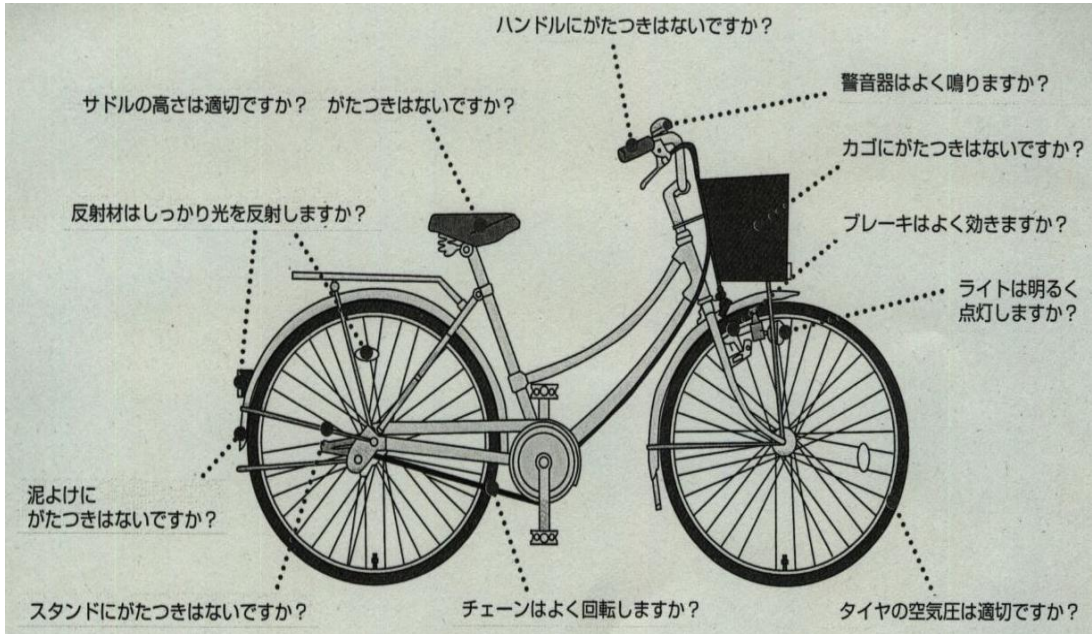


## ●日本で最初に自転車を作ったのはこんな職人


1890年、宮田栄助さんという元〇〇鍛冶師が日本で最初に安全型自転車を作ったとされています。〇〇鍛冶師とはD\_\_\_\_\_を作る職人のこと。ネジは鉄の棒からヤスリで1本1本削って作ったというから大変苦勞だったでしょう。当時は1台の自転車を、6人の職人が1か月かけて作っていました。

★自分の家の 自転車の点検整備 をしよう・・・


それぞれの項目に問題なしなら○をつけ、問題ありなら×をつけよう。




### まちがい探しの答え



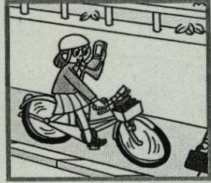
**ヘルメットのおごひもが結べていません**  
 転んでしまったときに、ちゃんと頭部を守るようしっかりと結びましょう。



**ベルがついていません**  
 ベルはかならずつけましょう。ただし、むやみに鳴らして人を驚かせてはいけません。



**携帯電話を使用しています**  
 携帯電話を使用しながら運転するのはたいへん危険なので、絶対にはいけません。



**歩道を走っています**  
 車的一种(軽車両)とされる自転車は、車道を走るのが原則です。車道を走るのが危険な場合など、例外を除き、歩道を走ってはいけません。

豆知識の答え

- A ペダル    B 28    C 自転車    D 鉄砲

# 交通安全クイズをつくろう

- ① ハンドブックの中から、クイズになりそうな題材をさがす。
- ② 選んだ題材から、一問一答問題、3 択（4 択）問題、○×問題などを作成する。

問題例：自転車事故の原因、第一位を次の中から選びなさい。

A 信号無視    B 一時不停止    C 安全不確認    D ハンドル操作のあやまり

答え…A

解説：止まっている車の右側を通行するときは、車の手前でいったん止まり、後ろの安全もよく確かめてから、ゆっくりと走行しましょう。

★自分で作成したクイズを記入しよう。

③ 班のみんなで、どのクイズを採用するのか話し合っ  
て決定する。(3題選出)  
出題する問題の順番も決めておこう。

○
○
○

④ 各担当者を決めてリハーサルを行う。

司会者(進行役)	問題を読む人	問題解説をする人	画用紙を持つ人	画用紙に書く人

⑤ さあ、発表会。答えや、他の班のおもしろいクイズなどを記入しよう。

--

# 自転車シミュレータ体験

1、あなたは普段、どのような自転車の乗り方をしていますか。振り返ってみましょう。

(1)自転車にまたがる時	(2)走り出す時
(3)停車する時	(4)道を曲がる時
(5)交差点を通過する時	(6)踏切を渡る時

2、自転車を利用して危ない思いをしたり、事故になりそうな場面はありましたか。  
これまでの自転車利用場面を振り返り、考えてみましょう。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---

3、シミュレータを体験して学んだ正しい自転車の乗り方についてまとめよう。

(1)自転車にまたがる時	(2)走り出す時
(3)停車する時	(4)道を曲がる時
(5)交差点を通過する時	(6)踏切を渡る時

4、シミュレータを体験して学んだ正しい自転車の乗り方と、普段自分が行っている自転車の乗り方を比較して、どこを直さなくてはならないか考え、まとめよう。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---

# 1 学年「危険を予測するチカラを見つけよう」

映像を見る前に…

★最近（今まで）自転車で乗っていて危険だなと感じたことを書いてみよう。

チャプター1～3を見て…

★主人公は、なぜ事故を回避できたのか。どんなことに注意したからなのか。

チャプター4、5を見て…

★六中の周辺で自転車事故が起こりそうな場所を、下の地図中に○をつけなさい。





★地図中の○をつけた場所を取り上げた理由を書こう。

CHAPTER 6を見て…

★事故を起こしてしまった場合、どのような責任を問われるのか3つ書こう。

★事故を起こした主人公のどのような行動が、事故の原因となったのだろうか。

★なぜ、事故を回避できたのか。どんなことに注意したからなのか。

●交通安全VTRを見て、授業の感想をまとめてみよう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## 2学年「自転車（自転車）の日常整備講座」

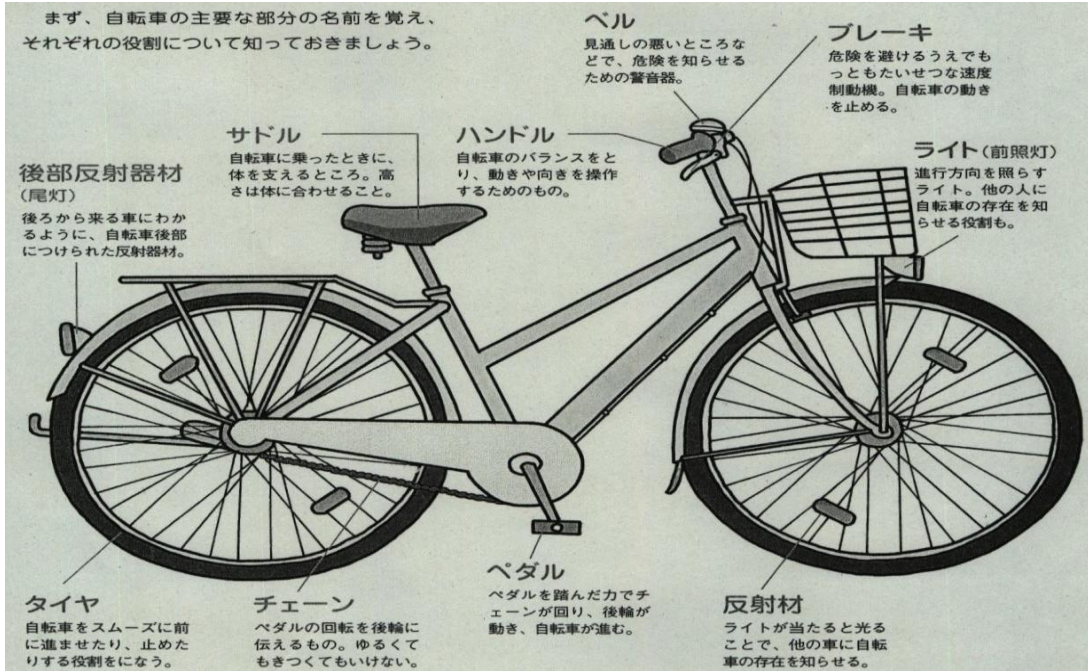
★話を聞く前に、自転車の構造・整備の方法など質問したいことをメモしておこう。

＜質問したいこと＞

★話をききながら、整備のポイントなど大切なことをメモしてしよう。

＜大切なこと＞

まず、自転車の主要な部分の名前を覚え、それぞれの役割について知っておきましょう。



★点検整備の方法を記入しよう。

<乗る前に毎回、チェックすべきこと>

項目	チェック方法
例：タイヤ	空気は十分に入っているか。タイヤはすり減っていないか。

<定期的にチェックすべきこと>

項目	チェック方法
例：チェーン	チェーンはよく回転し、さびついていないか。

★気づいたこと、心がけたいことなどをまとめてみよう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## 3 学年「弁護士講話」

自転車が関係した交通事故は年間多数が起っています。

それらの事故が起こった後、加害者、被害者、それぞれの家族にはどのような事が起こるのでしょうか。

弁護士として、交通事故に関係する裁判にかかわっていらしたなかから、交通事故がその後の人生をどう変えてしまうのか、事故の加害者や加害者家族はどのようにして、自己の責任を償っていくのか、ということについて、貴重なお話を伺います。

### 事前に考えよう

A) 交通事故にあってしまった被害者・被害者家族は事故後どのような生活の変化に直面することになるのだろうか。考えてみよう。

• 被害者

• 被害者家族

B) 交通事故を起こしてしまった加害者・加害者家族は、事故後にどのような償いをするようになるのだろうか。考えてみよう。

• 加害者

• 加害者家族

講話で伺ったことや、伺って考えたことをまとめよう

A) 交通事故の悲惨さについて

B) 交通事故によって人生を狂わされるのはどのような人であったか

C) 交通事故の裁判とはどのようなものであるのか。

D) 事故被害者には、どのような困難が待ち受けているのか。

E) 事故被害者家族には、どのような困難が待ち受けているのか。

F) 事故加害者は、どのようにして事故の償いをしていくのだろうか。

G) 事故加害者家族は、どのようにして事故の償いをしていくのだろうか。

H) 今日の話をお伺いして感じたことや、認識が変わったことをまとめよう。

# 「スケアードストレイト」安全教室

起こってはいけない、「交通事故」を再現して目の前で見させていただける機会がスケアードストレイト型の安全教室です。スタントマンの方々が、体を鍛え抜き、入念な打ち合わせと練習を重ねて、怪我をすることなく事故の場면을再現していただきます。自分の身に起こったらと考えながら真剣に見て、真剣に考えてください。

## 事前に考えよう

A) あなたが、これまで生活をしていて、事故にあいそうだったことはありませんか。「ヒヤリとした経験」「ハットするくらい危なかった経験」「事故にあってしまった経験」をまとめてみましょう。

場面	ヒヤリとした	ハッ!と思った	事故になってしまった
歩行中			
自転車運転中			
自動車乗車中			

## 安全教室後に考えよう

A) 事故現場の再現で見たものを思い出しながら、まとめてみよう。

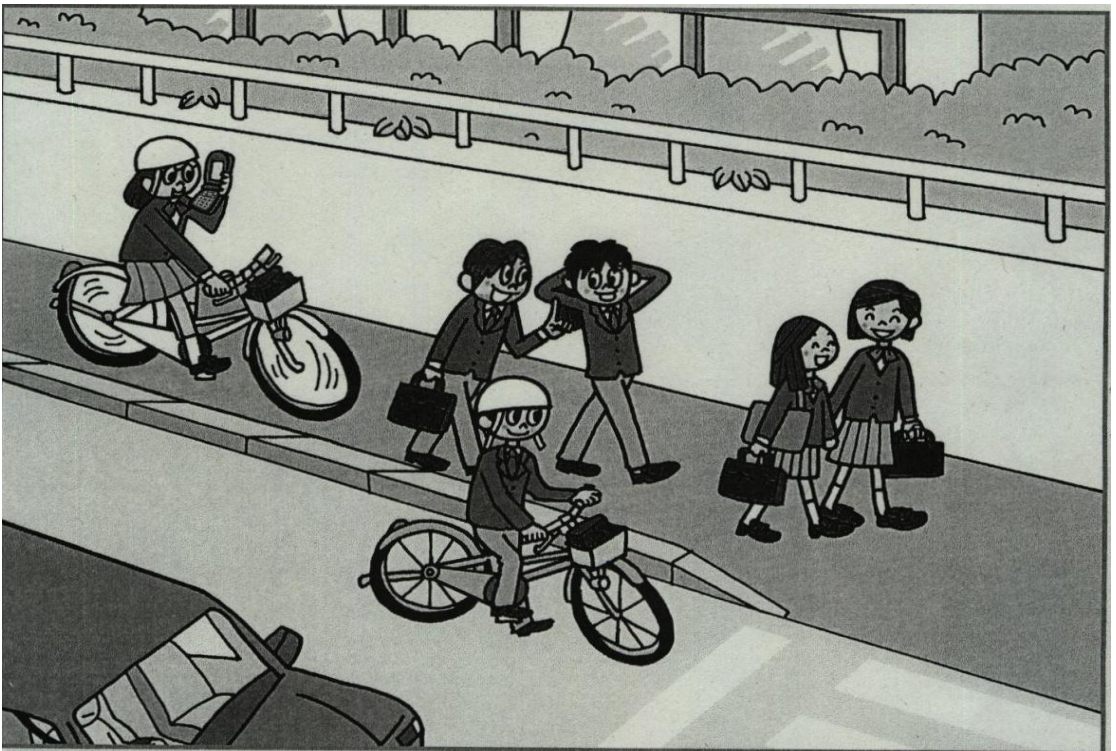
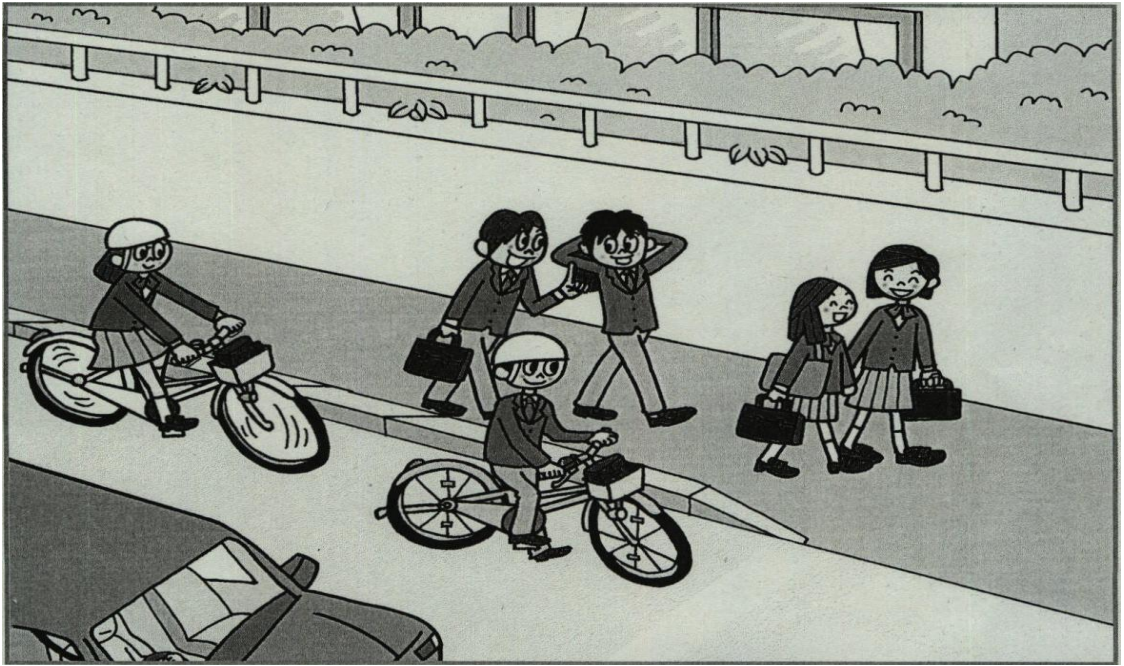
自転車が車に 挽かれる	
見通しの悪い交 差点での事故	
トラックの内輪 差外輪差	
並列運転をした ことによる事故	
音楽を聴きなが ら、携帯で話しな がら運転したこ とによる事故	

B) あなたが被害者や加害者にならないために、普段からどのような運転をすればよいか。今までの自分の運転を思い出しながら、どこを変えるべきか考えよう。

--

# ～交通安全まちがえ探し～

★下の絵には5つのルール違反があります。見つけて○をつけてみよう。(答えはP11)





# <メモのページ>

